

第2回 市立脳卒中・神経脊椎センター介護老人保健施設指定管理者選定委員会会議録	
日 時	平成28年7月21日(木) 13時30分～15時30分
開 催 場 所	松村ビル本館 地下1階会議室
出 席 者	委員長 渋谷明隆、副委員長 篠原弘子、宮田光明、中島礼子、鈴木智子、増田英明
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開(傍聴者なし) ※委員による評価に関する審議については非公開。
議 題	指定管理者の指定候補者の選定について
決 定 事 項	社会医療法人 ジャパンメディカルアライアンスを指定管理者の指定候補者に選定 評価は最低基準60点に対し70点(100点中)
議 事	<p><b>1 応募者による提案説明</b> 提出した提案書により説明</p> <p><b>2 提案に対する委員からの質疑</b>  委員：在宅復帰後の生活を継続して支援する具体案  提案者：在宅復帰後も継続して当施設の通所・訪問リハビリテーションを利用できるようにするなど、施設の各機能が連携して支援できる体制をとっている。  委員：脳卒中・神経脊椎センターからの入所の状況  提案者：今年度については6月末で34.2%となっている。他からの入所とバランスをとりながら運営している。  委員：地域やケアマネとの連携の進め方  提案者：特に地域ケアプラザとの連携を重点的に考えている。その中で例えばケアプラザのケアマネージャーとの連携にも十分留意している。  委員：指定管理負担金を最低基準額とした理由  提案者：現在でも施設利用率はほぼ100%で推移していること、今後も介護報酬の大幅な改善が見込みにくい中で、経営は人件費を中心に増大傾向にあり、これらのことを考慮して施設を適正に運営するためには基準額で受けざるを得ない。  委員：今回の募集に応じた法人としての考え  提案者：これまでに10年間に渡り指定管理者として施設を運営し利用者や市からも高い評価をいただいていること、施設職員からも引き続き当施設を運営したいという強い気持ちがあることから法人としても何とか続けていきたいと考えている。</p> <p><b>3 意見交換</b>  ・基本的事項、事業計画ともに現指定管理者としての実績がありしっかりしている。  ・大きな法人で財務的に安定しており、収益が厳しい事業によく応募してくれた。  ・法人として責任をもって運営を継続したいと考えている。  ・感染症対策や安全対策に力を入れている。  ・職員の年齢構成が若く士気も高いようだ。入所者も在宅復帰へのモチベーションが高く、施設の特性に応じた運営がされている。</p> <p><b>4 指定候補者の選定</b>  ・評価は最低基準60点に対し70点(100点中)  ・ジャパンメディカルアライアンスを指定管理者の指定候補者に選定</p>
資 料 ・ 特記事項	1 資料 (1) 提案書 (2) 法人情報 2 特記事項 なし